

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
自然との共生	〈1〉 生物多様性への取組	①	市内の緑地や動植物を保護するため、特別緑地保全地区の指定や「ふるさとの緑の景観地」の保全に努めます。	みどり公園課	ナラ枯れした樹木や架線支障木の伐採・剪定、除草等の植栽管理を実施した。埼玉県と協働して用地買収を進めた。
		②	地域で親しまれている雑木林や貴重な樹木などを保全するため、保存樹林・保存樹木の保全に努めます。	みどり公園課	保全配慮地区における新規保存樹林の指定に取り組んだ。
		③	環境イベント等において情報発信を行い、自然と人との共生につながる生物多様性に関して市民の理解を深めます。	環境政策課	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、貴重な自然環境について説明をした。
		④	市内に生息している動植物の種類や生息環境を知るため、市民参加による自然観察会を行います。	環境政策課	令和5年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、ホームページ以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。
		⑤	生物が生息しやすい水辺環境を作るため、河川の水質改善や水辺空間の再生などに努めます。	道路河川課	定期的な河川パトロールにより、構造物の修繕や堆積土の浚渫等を実施し、河川の水質改善や水辺空間の再生などに努めた。
		⑥	多様な生物の生息・生育の場として、水田や畑、農業用排水路などの「農」の環境を保全します。	農政課	水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、用排水路の適切な維持管理による「農」環境の保全を図った。
		⑦	地域本来の生物を保護するため、特定外来生物などによる生態系への被害防止に努めます。	生活環境課	アライグマによる農業被害等への対策及び発生防止を目的として、市民に箱わなを貸し出し・設置し、令和5年度は、222頭を駆除した。また、箱わなの台数を10台から20台に増やして対応した。
		⑧	生き物の生息状況を把握するため、市民団体や環境保護団体にヒヤリングを行うことで情報や知識の集約に努めます。	みどり公園課 環境政策課	市民参加型生物調査の実施に向けて2ヵ年の委託業務の予算要求を行い、翌年度の実施に向けて準備をした。
自然との共生	〈2〉 自然とのふれあいの促進	①	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。	みどり公園課	自然学習館におけるイベントでは、広報誌やホームページ等でイベントの周知を行い集客に努めた。
		②	保存樹林の中でも良好な自然環境を形成している箇所を特別緑地に指定し、「ふれあいの森」の保全に努めます。	みどり公園課	「上尾市自然環境保全と緑化推進に関連する条例施行規則」に基づき、市内各地区の象徴として守ってきた自然の所有者に対して奨励金を交付していたが、地権者の相続に伴い、令和6年3月末をもって「ふれあいの森505」の一部(6,847㎡)が契約解除となった。
		③	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。	環境政策課	令和5年12月に、自然保護を含めた市の取組やサクラソウトラスト地の自然保護活動に関する学習会を開催した。また、同月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。
		④	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。	環境政策課	上尾駅自由通路及び中学校において、環境パネル展示を実施し、環境保護団体や事業者の環境活動をPRした。
		⑤	身近な自然に親しんでもらうため、市内に残された貴重な自然を環境学習の場として活用します。	環境政策課	令和5年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催した。より多くの方に参加いただけるように、広報誌、ホームページ以外にも、イベント案内希望者や地元事業者団体などにも案内を出し、周知した。
		⑥	市民が農とふれあう機会を増やすため、農業体験などの体験型学習を充実させます。	農政課	農農業体験教室（さつまいも、田植え、稲刈り、大根、じゃがいも）の植付け、収穫を市内の小学生と家族により8回実施した。田植え、稲刈り教室では水田に生息する生き物の調査を同時に行い農業の大切さと環境維持の必要性を実体験し学習した。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
自然との共生	③ 緑地の保全・創出	①	市内の緑地や動植物を保護するため、特別緑地保全地区の指定や「ふるさとの緑の景観地」の保全に努めます。	みどり公園課	【施策＜1＞①と同じ】
		②	地域で親しまれている雑木林や貴重な樹木などを保全するため、保存樹林・保存樹木の保全に努めます。	みどり公園課	【施策＜1＞②と同じ】
		③	ふれあいの森等の緑地を維持管理するため、緑の募金を主体とした「みどりの基金」の適切な運用に努めます。	みどり公園課	庁内での職場募金及び法人、団体又は個人から寄附を頂き、上尾の優れた自然を取得し保全する活動に充てるため、みどりの基金に積立を行った。
		④	森林環境譲与税基金の適切な運用に努めます。	みどり公園課	CO2排出量相殺事業、ふるさとの緑の景観地の用地購入費等に森林環境譲与税基金を充当した。
		⑤	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度の適切な運用に努めます。	みどり公園課	公園管理協定を締結できる団体等を市ホームページで募集した。
		⑥	「上尾市開発行為における公園および緑地の設置に関する基準」に基づき、事業者が開発行為を行う際には、開発区域の緑化を指導します。	みどり公園課	「上尾市開発行為における公園および緑地の設置に関する基準」に基づき、開発区域の緑化指導を実施した。
		⑦	まちの緑を維持するため、公園の樹木などを適切に管理します。	みどり公園課	指定管理業務により樹木を適切に管理している。指定管理者の上尾市地域振興公社は、長年、市内の都市公園の指定管理業務を行っており、樹木管理について豊富な知識と技能を有している。
		⑧	市内の緑の状況を把握し、今後の施策に活かすため、必要に応じて「みどりの実態調査」を行います。	みどり公園課	第2次上尾市緑の基本計画の計画期間であるため、実施していない。
		⑨	「工場立地法」に基づき、特定工場の緑地率の向上を目指します。	商工課	特定工場において、敷地内の変更等の相談があった際には緑地面積並びに緑地率の向上を図るように助言した。
		⑩	市街地に残る農地や生産緑地を貴重な緑の空間として位置づけ、その保全を図ります。	みどり公園課	令和4年度に特定生産緑地制度が開始され、約90%の指定同意を得たことで、緑地率の維持につながっている。令和5年度より、緑地率を増やしていくために、生産緑地の追加指定の募集開始した。令和6年度には、生産緑地として指定される。生産緑地の管理手法として、市民農園の開設がしやすくなったことをホームページ等で周知した。
		⑪	都市計画道路の新設・改築の際には、街路樹等緑地空間の整備を検討するなど、道路環境の整備・管理に取り組みます。	道路河川課	市内の街路樹の定期的な剪定及び既存の緑地スペースの管理を適切に行った。
		⑫	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。	農政課	令和5年度は「あげお朝市・夕市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回、「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントに参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
自然との共生	へ4 水辺環境の保全・整備	①	「かいぼり」実施による水質維持や外来種駆除に努めます。	みどり公園課	自然再生活動を実施することで、水質の回復、カイツブリの営巣、絶滅危惧種ミズアオイの増加などを確認した。市民参加型外来種駆除イベント、湿地再生イベントには300人以上の市民が参加した。取り組みと成果を報告書としてまとめて、公表した。第42回緑の都市賞（緑のまちづくり部門）において、都市緑化機構会長賞を受賞した（R4）。
		②	生物が生息しやすい水辺環境を作るため、河川の水質改善や水辺空間の再生などに努めます。	道路河川課	【施策<1>⑤と同じ】
		③	水辺に親しめるような護岸づくりについて整備方針を立て、段階的に改善・整備します。	道路河川課	（準）上尾中堀川において、水辺環境を保全し、生き物の生息空間づくりを視野に入れた多自然型護岸の整備を実施した。
		④	堤防や護岸等の損傷箇所の発見のための河川パトロール等を実施します。	道路河川課	芝川・鴨川・原市沼川周辺の河川パトロールを月1回実施し、維持管理上必要な構造物の破損、土砂の堆積状況の確認を実施した。
		⑤	不法投棄の監視のため、河川パトロール等を実施します。	道路河川課	河川等の不法投棄に関するパトロールを月1回実施した。
		⑥	潤いとやすらぎのある景観や環境教育の場を保つため、水田や農業用排水路といった水辺環境を保全・管理します。	農政課	水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、用排水路の適切な維持管理を図った。
公害の防止	へ5 大気汚染の防止	①	市内の大気環境を把握するため、市内の観測所で定期的に大気の観測を行うほか、迅速な情報収集や効果的な対策のため県との連携を強化します。	生活環境課	市内の観測所の測定の結果、基準内であったことを確認した。 県（大気環境課・中央環境管理事務所）との間で緊急連絡先を更新し、また事例検討を行い連携を強化した。
		②	揮発性有機化合物の排出を抑制するため、大気汚染の防止に関する意識啓発を行い、自主的な取組を促進します。また、PRTR 制度について広報に努めます。	生活環境課	揮発性有機化合物及びPRTR制度については、県の協力依頼のもと実施する事業であるが、協力依頼はなかった。
		③	工場・事業場等による大気汚染を防止するため、ばい煙発生施設やボイラー等を設置している事業者に対し、定期的な立入検査とともに、必要な指導を行います。	生活環境課	野焼きパトロールのほかに、指定ばい煙発生施設（1箇所）に対して、立入調査及び測定を実施し、基準に適合していることを確認した。
		④	一定以上の駐車場を設置する事業者に、アイドリングストップの表示等について指導を行います。	生活環境課	開発行為等に伴い、20台以上または駐車面積500㎡以上の駐車場を新たに設置する者に対して、アイドリングストップの看板設置等により周知するよう指導した。(32件)
		⑤	自動車からの排出ガスを抑制するため、市民や事業者エコドライブやアイドリングストップの実践を促します。	環境政策課	啓発資料「くらしレシピ」において、エコドライブの啓発を行った。
		⑥	自動車からのCO <sub>2</sub> やその他の排出ガスを抑制するため、市内循環バスを中心とする公共交通機関の充実や利便性の向上を図り、市民や事業者公共交通機関利用の実践を促します。	交通防犯課	運行時刻、路線ルート情報、バスロケーションシステムについて、上尾市HP、時刻表、マップに記載し、市役所、支所・出張所、一部公共施設等にて配布。市内転入者に公共交通マップを配布。運転免許証自主返納者（75歳以上対象）に市内循環バス「ぐるっとくん」の乗車回数券、時刻表、市内循環バスのマップを配布。また、11月に開催された「第48回あげお産業祭」に「ぐるっとくん」のバス車両を展示、乗車体験を実施した。



環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価（具体的に）
公害の防止	〈6〉水質汚濁の防止	①	家庭の生活雑排水による環境負荷を低減するため、市民に生活排水に関する配慮事項を具体的に示し、周知します。	生活環境課	生活雑排水を適切に処理し排水するよう、県（水環境課）や他市と共同で合併処理浄化槽の普及を行ったほか、浄化槽の適切な維持管理に関する周知を県（中央環境管理事務所）と共同で行った。
		②	河川や地下水の水質状況を把握するため、定期的な水質調査を行い、汚染確認時には適切な指導と対策を実施します。	生活環境課	市内を流れる河川・下水路のうち17箇所で水質調査を実施し、健康項目の環境基準に適合していることを確認した。また、県の測定計画に協力し、市内地下水の2箇所で概況調査、2箇所で継続監視調査を実施した。
		③	工場・事業場等による水質汚濁を防止するため、定期的な立入検査とともに、必要な指導を行います。	生活環境課	水質汚濁防止法及び埼玉県生活環境保全条例により、特定施設・指定施設を有する50事業場に立入調査を実施し、不適合の9事業場に指導し、改善の確認（6事業場）と再指導（3事業場）を行った。
		④	生活排水を適正に処理し、河川等の水質汚濁を防止するため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対し補助します。	生活環境課 下水道施設課	単独浄化槽及びくみ取り便槽から合併処理浄化槽への転換工事に関する補助金の申請は16件あり、2件取り下げがあったため、14件の転換及び補助金の交付を行った。
		⑤	河川の水質浄化を行うため、流域の自治体と組織した連絡協議会に参加し、効果的な対策を広域的に取り組みます。	下水道施設課 建設管理課	協議会が未開催のため、取組なし。
		⑥	河川等の公共用水域の水質保全のため、公共下水道の整備を計画的に進めます。	下水道施設課	河川等の公共用水域の水質保全のため、事業計画区域の公共下水道の整備を行った。（現地踏査・管路施設の設計・工事の発注）（対象地域：中新井、堤崎、小敷谷、大谷第二、壱丁目、壱丁目南、地頭方）
公害の防止	〈7〉騒音・振動の防止	①	市内の道路環境の改善を図るため、騒音・振動測定により道路交通騒音や振動の状況を把握し、補修の必要がある場合には道路管理者に要請します。	生活環境課	道路の騒音・振動の測定を行い、市内の状況を確認した。また、要請限度を超えたことにより、道路管理者に防止・軽減対策の要請は行っておりません。
		②	市民の快適な生活環境を維持するため、市民・事業者に対し、騒音・振動の発生抑制について啓発・指導を行います。	生活環境課	事業活動等に伴う騒音・振動の問い合わせについては、発生原因を確認し、原因者に対して指導・助言を行った。（騒音56件、振動10件）
		③	住工混在による騒音・振動の問題を未然に防ぐため、土地利用の適正化を図ります。	都市計画課	用途地域が工業地域や準工業地域など、住工が混在する地区における地区計画制度の運用により、適切な住環境の維持を図った。加えて、新たに工業系用途による土地利用が期待される地区において、建築物等に関する適正な制限により周辺環境に配慮した適正な土地利用を図るため、必要な地区計画の検討を進めた。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
公害の防止	〈8〉その他の公害の防止	①	上尾市役所での空間放射線を測定し、結果を広く公表します。市内の農作物の食品放射能を測定し、事業者にお知らせします。	生活環境課	上尾市役所で空間放射線量の測定を毎月実施し、基準内であったことをホームページで公表した。なお、農作物の食品放射能の測定を利用する方がいなかったため、測定の実施はなかった。
		②	基準値を超える放射性物質が検出された場合は、除染、食材の使用停止および農作物の販売停止などの措置を実施します。	生活環境課	農作物の食品放射能の測定がなかったため、販売停止などの措置はなかった。
		③	市内の工場・事業場等からの悪臭を防止するため、発生状況を把握し、発生源への指導を実施します。	生活環境課	悪臭に関する相談を受付し、速やかに現地調査し、必要に応じて指導・助言した。(77件)
		④	地盤沈下を防止するため、県とともに継続的な調査および監視を行います。	生活環境課	地盤沈下の注意報等の発令に伴い、県の協力依頼のもとに調査・監視を行うものであるが、協力依頼はなかった。
		⑤	河川や地下水の水質状況を把握するため、定期的な水質調査を行い、汚染確認時には適切な指導と対策を実施します。	生活環境課	【施策<6>②と同じ】
		⑥	工場・事業場等による土壌汚染を防止するため、事業者に対し、土壌汚染防止に関する意識啓発や指導を行います。	生活環境課	土壌汚染防止法の意識啓発や指導は、県の協力依頼のもとに実施するものである。中分・領家・藤波の各地区の一部において、県に協力して、井戸水の調査と住民周知を行った。
		⑦	市内のダイオキシン類の汚染実態を把握するため、大気および河川のダイオキシン類の調査を実施します。	生活環境課	市内4箇所で大気と河川水のダイオキシン類の調査を行った。また、全てにおいて環境基準を達成し、環境基準の達成率は100%となった。
		⑧	ばい煙・悪臭・ダイオキシン類の排出抑制を図るため、野焼きの禁止、もしくは自粛するよう指導します。	生活環境課	指定ばい煙発生施設(1箇所)に対して、立入調査及び測定を実施し、基準に適合していることを確認した。小型焼却炉を保有する事業所等に対して、野焼きパトロールを実施した(4回)。
		⑨	アスベストによる健康被害を防止するため、事業者が建築物の解体工事等を実施する際には、アスベストの飛散防止の措置を講じ、適正な廃棄物処理を実施するよう指導します。	生活環境課	国及び県のマニュアルに沿って、アスベストの飛散防止対策と適正な廃棄物の処理を指導した。また、特定建築材料が使用されている建築物の解体について、事前に立入調査を実施し、アスベストの飛散がなかったことを確認した。(3件)
		⑩	アスベストによる健康被害を防止するため、アスベストを使用している民間建築物を把握します。	建築安全課	アスベストの分析調査費用の補助について、市ホームページ及び広報あげおにより情報提供を行った。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
快適環境の構築	〈9〉公園の整備	①	市民の身近な憩いの場を増やすため、土地区画整理事業で確保した用地を新たな公園として整備します。	みどり公園課	小泉土地区画整理事業地内の寺東公園について、整備を実施した。
		②	市民のニーズにあった公園を整備するため、設計から維持管理まで地域住民の参加を呼びかけます。	みどり公園課	寺東公園整備については、どのような公園にしたいか地域住民とワークショップを行った。また、こぶし公園の再整備については、地域住民へアンケート調査を実施し、公園の役割や機能、欲しい施設について意見を集約した。
		③	身近な自然や公園を維持管理するため、市民や事業者との協働による緑のパートナーシップ制度の適切な運用に努めます。	みどり公園課	【施策<3>⑤と同じ】
		④	身近で自然とふれあい、学べる場を守るため、公園の維持管理に努めます。	みどり公園課	指定管理者による公園の適切な維持管理に努めた。
快適環境の構築	〈10〉農地の保全・活用	①	都市における農地を保全するため、市民農園の市民への利用促進を図ります。	農政課	市民農園の利用申請を受け、令和5年度は延べ282件の申請があった。
		②	都市における農地を保全するため、農地所有者への市民農園の開設について周知を行います。	農政課	農地所有者による市民農園の開設について、特定農地貸付法に基づいた市民農園開設相談を受け付けた。
		③	環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業を進めるため、減農薬農法や有機農法などの指導や補助を行います。	農政課	水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、用排水路の適切な維持管理を図った。
		④	農地の多面的機能を維持・発揮するため、農業者や地域住民が協働で行う農地の維持管理や田畑の景観形成などの活動を支援します。	農政課	地元住民による環境保全会が実施する維持管理や景観形成等の活動に対し、補助金を交付することで財政的に支援した。
		⑤	地域農業を活性化させるため、直売施設の充実や「あげお朝市」に対する支援や地場産品の学校給食への活用など地産地消を促進します。	農政課	令和5年度は「あげお朝市・夕市」を14回、「あげお軽トラ市」を10回、「トマト市」を6回開催した。その他市内イベントに参加し、地産地消に向けた地元野菜PR活動を行った。
		⑥	農業後継者を始め、農業外からの新規就農等、市の農業を担う意欲ある農業者の支援を促進します。	農政課	市内外から意欲ある農業者の就農相談を受けた。1法人が新規就農をはじめ、2名が就農研修を受け、1名が修了した。
		⑦	遊休農地や耕作放棄地を解消するため、農地パトロールを実施し、利用権設定の促進を図ります。	農政課 農業委員会事務局	利用権設定については、随時受付をしており相談・申請しやすい体制とした。また、利用権設定満了時に補助金を交付して利用権設定の促進を図った。
		⑧	地産地消により、地域農業を活性化させるため、地場産品の学校給食への活用を推進します。	学校保健課	本市の産物である小松菜と枝豆を農業法人と協力し、粉末に加工した。その小松菜の粉末は「揚げパン」や「すいとん」で小中学校で使用し、えだまめの粉末はホワイトソースに混ぜ込み、「グラタン」などの献立に組み込み、市内全小学校の給食に取り入れた。



環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 （具体的に）
快適環境の構築	〈1-1〉環境美化の推進	①	ごみの適正処理とまちの環境を保全するため、道路・河川などの不法投棄ごみの撤去を行います。	建設管理課	道路河川課と合同で道路パトロールを実施しており、現地調査などの際にも注視した。また、河川においても、現地調査などの際にパトロールを併せて実施した。
		②	路上へのたばこの吸殻の散乱を防止するため、「路上喫煙の防止に関する条例」に基づき、指定された区域内での路上喫煙を禁止します。	生活環境課	JR上尾駅・北上尾駅周辺の路上喫煙禁止区域においては、指定された喫煙スペース以外での路上喫煙をしないよう、路面に啓発メッセージを表示することにより周知を図っている。
		③	まちの環境美化を推進し、快適な生活環境を保持するため、空き缶等のポイ捨てやペットの排泄物の放置を防止します。	生活環境課	「上尾市ポイ捨て等の防止及び環境美化の促進に関する条例」に基づくポイ捨て防止の啓発活動を行なうと同時に「クリーン上尾運動」として清掃活動への支援を行った。また、令和5年度は、犬の糞等放置防止については啓発用表示板260枚を作成したので、順次掲示していく。猫については、令和5年度は22件の相談（糞尿被害を含む）があり、飼い主及び餌やりを行なう人に対し注意喚起を行なった。
		④	市民・事業者・行政が一体となってまちの環境美化を促進するため、地域で行う清掃活動を支援します。	生活環境課	地域の環境整備を図るため衛生事業を行う環境美化推進員を委嘱し、上尾市環境美化推進員連合会に補助金を交付した。また、ごみゼロの日（5月30日）に準じて各地域の住民により行われる清掃活動「クリーン上尾運動」を支援した。
		⑤	ごみの散乱を防止するため、ごみの分別方法や収集日、リサイクル品の回収日の周知、ごみ散乱防止ネットの設置を指導します。	西貝塚環境センター	ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリ等でごみの分別等を啓発するとともに、ごみ散乱防止ネット、ごみ出しルールの啓発看板を必要とする市民に無償で配布した。
		⑥	資源物の持ち去り行為を防止するため、監視パトロールを強化します。	西貝塚環境センター	市民からの持ち去り情報（車の特徴、持ち去りの多い地区、時間帯など）を上尾警察署に提供し、連携してパトロールを実施し、持ち去りを続けていた1人を上尾警察署が呼び出し注意した。今後も警察署と連携してパトロールを継続する。
快適環境の構築	〈1-2〉景観の保全・整備	①	良好なまちの景観を形成するため、一定規模を超える建築物や工作物の建築等が行われる際は、色彩や形状などを地域の環境と調和のとれたものとするよう指導します。	都市計画課	埼玉県景観条例に基づき、届出審査において対象となる建築物（工作物）の色彩や形状などについて、周辺環境と調和のとれた良好な景観の形成に資する計画となるよう、協議・助言を実施した。（届出審査6件）
		②	建築物等の色彩を周囲の環境と調和のとれたものにするため、街づくり推進条例を活用した住民主体のまちづくり活動の支援を通じて、地区計画を策定します。	都市計画課	上尾道路沿道堤崎西部地区において、建築物等に関する適正な制限により周辺環境に配慮した適正な土地利用を図るため、必要な地区計画の検討を進めた。
		③	駅周辺の中心市街地や防災上重要な都市計画道路については、防災機能の向上、通行空間の安全性、快適性の確保、良好な景観掲載を図るため、無電柱化を推進します。	道路河川課	現在事業中である西宮下中妻線1工区の電線共同溝（385m）整備をした。
		④	まちの景観維持のため、「埼玉県屋外広告物条例」に違反した景観を阻害するはり紙や捨て看板等の除去対策を進めます。	都市計画課	違反屋外広告物除却に係る業務委託を発注し、市内を巡回の上、簡易な違反屋外広告物（はり紙、はり札等、広告旗、立て看板等）の除却作業を実施した。（年30回）
		⑤	安全で快適に通行できる交通環境を目指して、歩道等の整備を推進します。	道路河川課	上尾駅西口ロータリーの歩道リニューアル工事の検討を行った。
		⑥	高齢者や障がい者、すべての人が利用しやすい道づくりのため、歩道等のバリアフリー化など、歩行空間におけるユニバーサルデザインを推進していきます。	道路河川課	上尾駅西口ロータリーの歩道リニューアル工事の検討に伴い、視覚障がい者の安全な利用を図るため、点字ブロックの設置を計画した。
		⑦	残された田園風景を保持するため、水田や畑などが織りなす「農」の景観の保全に努めます。	農政課	水利組合や環境保全会と協働し、水田や農業用排水路の藻刈り・浚渫・清掃などの維持管理作業を行った。また、農道修繕、用水路修繕、農閑期には草刈り、野焼きを実施し、用排水路の適切な維持管理による「農」環境の保全を図った。
		⑧	歩行および自転車の利用しやすい環境づくりのため、放置自転車対策を進めます。	交通防犯課	放置禁止区域内に放置されている自転車に対して、警告札を貼り付け自転車の放置に対する意識づけを行うとともに、放置自転車の撤去作業を原則として月4回行った。また、撤去自転車のうち、再利用可能な自転車については埼玉県自転車軽自動車商協同組合上尾支部に譲渡した。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
循環型社会の形成	〈13〉ごみの発生抑制(Reduce)の推進	①	家庭ごみの減量化と資源循環のため、ごみの減らし方やリサイクルについて積極的な情報発信を実施します。	環境政策課	出前講座において、ごみの減らし方やリサイクルについて情報発信を行った。啓発資料の「雑紙捨てないで」「くらしレシピ」をイベント等で配布した。
		②	買い物時のごみの発生を抑制するため、事業者とともに過剰包装の辞退やマイバッグの持参などを市民に呼びかけます。	環境政策課	出前講座において、過剰包装の辞退やマイバッグの持参などについて情報発信を行った。
		③	ごみの減量化や資源循環のため、家庭や事業所にグリーン購入を呼びかけます。	環境政策課	啓発資料の「くらしレシピ」において、グリーン購入を紹介した。
		④	生ごみの減量化およびたい肥化により資源の有効利用を図るため、家庭用生ごみ処理容器等の購入に対して補助します。	環境政策課	生ごみ処理容器等購入費補助金において、119件の補助を行った。
		⑤	食品ロスを削減するため、フードドライブなどの活動を促進します。	環境政策課	埼玉県より「埼玉県下一斉フードドライブキャンペーンの実施について」の協力依頼があり、社会福祉協議会、子ども支援課、環境政策課共催で、フードドライブを実施した。
		⑥	建設工事における廃棄物の発生を抑制するため、建築物等に係る分別解体等および再資源化等を適正に実施するよう事業者に指導します。	建築安全課	6月、10月、1月、2月の計4回、解体現場へのパトロールを行った。解体現場では、廃棄物が適切に処理されていることを確認し、事業者に分別解体及び再資源化を引き続き適正実施するよう協力を求めた。
循環型社会の形成	(Reuse、Recycle)〈14〉ごみの再利用・再資源化の推進	①	生ごみの減量化およびたい肥化により資源の有効利用を図るため、家庭用生ごみ処理容器等の購入に対して補助します。	環境政策課	【施策〈13〉④と同じ】
		②	地域における資源ごみのリサイクルを促進するため、地域リサイクルの活動内容や事例紹介など情報発信を行います。	環境政策課	ホームページで地域リサイクル事業について、情報発信を行った。
		③	地域における資源ごみのリサイクルを促進するため、地域でリサイクル活動を行う団体に対して支援を行います。	環境政策課	地域リサイクル事業報奨金をにおいて、前期は121団体、後期は118団体に支援を行った。
		④	使用済み小型電子機器等の適正な処理と資源循環のため、公共施設に回収ボックスを設置して小型家電リサイクルを推進します。	西貝塚環境センター	回収ボックスによる小型家電の回収とリサイクルについて、ごみ収集カレンダーやごみ分別アプリにより啓発している。
		⑤	収集した粗大ごみからのピックアップ、リユースを前提とした収集、リユース品の住民の持ち込みなどによるリユース活動を促進します。	西貝塚環境センター	環境センターに持ち込まれた家具や本等のうち、まだ使えるものを選別し、定期的にリサイクル品展示室に持ち込みした。これを必要とする市民に無償で提供した。



環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
低炭素社会の構築	〈15〉省エネルギー・再生可能エネルギーの推進	①	家庭におけるエネルギー使用の無駄を省き、CO <sub>2</sub> 削減を図るため、家庭でできる省エネルギー活動を積極的にPR します。	環境政策課	出前講座において、家庭でできる省エネルギー活動を案内した。 啓発資料の「くらしレシピ」をイベント等で配布した。
		②	家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るため、市民に向けて太陽光・太陽熱・エネファーム（家庭用燃料電池）等の情報提供を行い、設備更新を促します。	環境政策課	太陽光・太陽熱・エネファーム（家庭用燃料電池）等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。
		③	家庭におけるエネルギー使用量の削減を図るため、市民に向けてホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）等の情報提供を行い、設置を促します。	環境政策課	ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。
		④	建物の遮熱を図り、冷房の使用を抑えるため、家庭にグリーンカーテンを普及・促進します。	環境政策課	グリーンカーテンの補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。
		⑤	事業所におけるエネルギー使用の無駄を省き、CO <sub>2</sub> 削減・コスト削減を図るため、省エネ診断やエコチューニング等の取組を積極的にPR します。	環境政策課	事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション2.1取得の推進方法等について検討した。
		⑥	事業所におけるエネルギー使用量の削減を図るため、事業者に向けて太陽光・太陽熱・コージェネレーション設備（熱電併給システム）等の情報提供を行い、設備更新を促します。	環境政策課	事業所へ省エネルギー等の環境経営システムの構築を促すため、事業所のエコアクション2.1取得の推進方法等について検討した。
		⑦	「上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を推進し、市の公共施設および事務事業の実施により排出される温室効果ガスの削減を図ります。	環境政策課	R4年度の「第3次上尾市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」策定に向けて各課に周知・共有し、エネルギー使用量の削減を呼びかけた。
		⑧	CO <sub>2</sub> が排出されないクリーンエネルギーの利用を促進するため、太陽光発電や地中熱ヒートポンプなど再生可能エネルギーの活用に関する情報提供を行います。	環境政策課	省エネ対策推進奨励金のホームページやパンフレットにおいて、太陽光発電システムの補助を行っていることを周知した。
		⑨	学校の緑を維持する為、敷地内の樹木を適切に管理します。	教育総務課	小学校で剪定及び伐採等業務を16本、伐採工事を9本、中学校で剪定及び伐採等業務を10本実施し、樹木を適正に維持できるよう努めた。また、危険樹木伐採剪定業務を全校を対象に実施し、施設利用者の安全確保とともに維持管理を継続できるようにした。
		⑩	建物の遮熱を図り、冷房の使用を抑えるため、学校にグリーンカーテンを普及・促進します。	環境政策課 教育総務課	令和5年5月、大石北小学校においてグリーンカーテンを設置した。遮熱効果等において一定の効果を得た。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
低炭素社会の構築	＜15＞省エネルギー・再生可能エネルギーの推進	⑪	CO <sub>2</sub> 削減効果の高い電気自動車を普及させるため、電気自動車の購入に対する補助と充電設備の利用を促進します。	環境政策課	電気自動車等の補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。
		⑫	自動車からのCO <sub>2</sub> やその他の排出ガスを抑制するため、市内循環バスを中心とする公共交通機関の充実や利便性の向上を図り、市民や事業者公共交通機関利用の実践を促します。	交通防犯課	【施策＜5＞⑥と同じ】
		⑬	市民の自転車利用を促進するため、事業者との協働による計画的・効果的な駐輪場の整備手法を研究します。	交通防犯課	新型コロナウイルス感染症の影響によるリモートワーク等の生活様式が浸透したことにより、現在の全駐輪場収容台数で需要を充足していると考えられることから、動向を注視した。
		⑭	自動車からのCO <sub>2</sub> やその他の排出ガスを抑制するため、市民や事業者エコドライブやアイドリングストップの実践を促します。	生活環境課	開発行為等に伴い、20台以上または駐車面積500㎡以上の駐車場を新たに設置するものに対して、アイドリングストップの看板設置等により周知するよう指導した。(32件)
		⑮	自転車安全に走ることができる環境整備のため、「上尾市都市計画マスタープラン2020」に掲げる、自転車レーン整備優先エリアの整備を進めます。	道路河川課	西宮下中妻線の自転車レーン未整備区間について、工事発注を行った。
低炭素社会の構築	＜16＞地球温暖化への適応策の推進	①	ヒートアイランド現象を緩和するため、グリーンカーテンの設置をはじめ、緑化を指導し、まちなかの緑を増やします。	みどり公園課 環境政策課	戸崎公園、自然学習館でグリーンカーテンを実施した。大石中学校横のプランターに草花を植栽した。グリーンカーテンの補助金である省エネ対策推進奨励金について、ホームページ・出前講座等で啓発した。
		②	熱中症予防に向け、市民や事業者打ち水などの暑さへの対策を広く呼びかけます。	環境政策課	環境啓発資料である「くらしレシピ」において、クールシェア方法の周知を行った。
		③	ゲリラ豪雨による浸水被害を軽減するため、市民や事業者雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を呼びかけるとともに、雨水貯留槽の設置や透水性舗装の整備などによる雨水流出抑制を指導します。	建設管理課	開発行為の事前相談の際に、事業者等に対し雨水浸透貯留施設の設置の推進を実施した際に、併せて雨水貯留タンクへの普及啓発も行った。
		④	ゲリラ豪雨による浸水被害に備えるため、浸水が予想されるエリアや避難場所の周知、市民の防災意識の向上を促進します。	危機管理防災課	マイタイムライン研修【上尾市役所新規採用職員】(52名)、マイタイムラインワークショップ【原市地区自主防災連合会】(21名)、【南中学校】(159名)、【大谷本郷地区住民】(30名)を実施し、市民の防災意識の向上を促進した。
		⑤	上尾市防災士協議会と連携し、マイタイムライン等普段の備えを具体的に分かりやすく伝えていくことで、防災行動の普及啓発に努めます。	危機管理防災課	マイタイムライン研修【上尾市役所新規採用職員】(52名)、マイタイムラインワークショップ【原市地区自主防災連合会】(21名)、【南中学校】(159名)、【大谷本郷地区住民】(30名)を実施し、市民の防災意識の向上を促進した。

環境目標	施策	実行施策		担当課	実際に取り組んだことと評価 (具体的に)
環境活動の活発化	へ17へ 環境教育・環境学習の推進の推進	①	環境への理解を深めるため、環境教育に必要な資料やパンフレット等を充実させます。	環境政策課	環境啓発資料である「くらしレシピ」を新たに作成し、情報更新に努めた。
		②	地域における環境学習の機会を増やすため、環境推進協議会において市民向けの環境に関する学習会を開催します。	環境政策課	令和5年12月にサクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会を開催し、サクラソウトラスト地の貴重な自然環境についての説明をした。
		③	環境教育の機会を増やすため、子どもから大人まで参加できる環境イベントの定期開催や市民団体・事業者・学校・地域が実施する環境への取組を支援します。	環境政策課	令和5年11月に食品ロスに関する学習会を開催したほか、12月にサクラソウトラスト地の管理作業と自然観察会を開催した。
		④	市民が自然とふれあう機会を増やすため、自然観察会などの体験型環境学習を充実させます。	環境政策課	【施策<2>③と同じ】
		⑤	将来にわたって環境活動を継続するため、次世代の環境活動をけん引するリーダーやボランティアなど新たな人材の確保と育成を図ります。	環境政策課 生活環境課	地域の環境美化活動のリーダーとして、令和5年度は環境美化推進員223名を委嘱した。任期は2年である。
		⑥	子どもの時からの環境教育の機会を増やすため、学校における温暖化対策講座等の実施を進めます。	指導課	環境政策課の実施する小・中学校向けの地球環境に関する講座を広く紹介した。
		⑦	地域における環境学習の機会を増やすため、公民館において市民向けの環境に関する講座を開催します。	生涯学習課	平方公民館講座「環境講座 SDGsでこれからの地球を考えよう」を実施し、14名が参加した。
		⑧	市民が自然とふれあう機会を増やすため、市民団体や事業者と協働し、学習・体験教室などの体験型環境学習を充実させます。	みどり公園課	【施策<2>①と同じ】
		⑨	市民が農とふれあう機会を増やすため、農業体験などの体験型学習を充実させます。【施策(2)と同じ】	農政課	【施策<2>⑥と同じ】
環境活動の活発化	へ18へ 共同による環境活動の推進	①	将来にわたって自然が豊かな美しいまちを守るため、市民一人ひとりが日常的な習慣として環境保全行動に取り組めるように、広報やイベントを通じて啓発します。	環境政策課	環境推進大会、環境学習会、環境パネル展示、サクラソウトラスト地の管理作業及び自然観察会などのイベントを通して、環境保全活動の必要性を啓発した。
		②	市民がふれあえる自然を守るため、市民団体や事業者が行う自然環境の保全活動を支援します。	環境政策課	【施策<2>④と同じ】
		③	NPO や民間事業者等が市民、行政と協働して行う環境活動に関する情報を収集するとともに、取組拡大に向けて広く周知啓発を行います。	環境政策課	事業者の活動事例として、中学校環境パネル展示及び上尾駅自由通路の環境パネル展示において、市内事業者団体「上尾ものづくり協同組合」の活動のパネルを紹介した。
		④	環境活動の更なる拡大を図るため、環境保全活動を行うグループ間の交流を促進します。	環境政策課 みどり公園課 農政課	上尾市環境推進大会を開催し、パネル展の開催により出展団体間の交流を促進した。上尾丸山公園の自然再生に関する意見を集約する目的で、専門家会合を年3回開催し、市内の自然保護団体に専門家として参加いただいた。また、園内で国内外来種問題を引き起こしている市民団体に対して、活動方針を再検討するように促した。
		⑤	市民・事業者・行政が一体となってまちの環境美化を促進するため、地域で行う清掃活動を支援します。	生活環境課	【施策<11>④と同じ】
		⑥	農地の多面的機能を維持・発揮するため、農業者や地域住民が協働で行う農地の維持管理や田畑の景観形成などの活動を支援します。	農政課	【施策<10>④と同じ】